

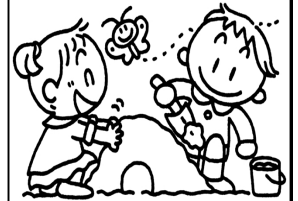
どろんこ

2024年12月19日(木)

697号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 村上はつみ



保育キャラバン

千葉県内の自治体に行き、保育に関する同じ質問をして、回答をもらい懇談するという「保育キャラバン」を毎年行っています。

今年度は11月7日～21日の11日間で行い、21日の浦安・市川・船橋・習志野に参加しました。いくつか紹介します。

(問) 国は4・5歳児の配置基準の変更を行いました。貴自治体では実施していますか。

(答) 浦安は来年度変更に向けて検討中、他は「はい」という回答でした。船橋市に関しては、「実際実施していない」が加配をあわせると「なっている」というあやふやな回答でした。

また、船橋市の配置基準は国

の配置基準通りです。国の配置基準に「おおむね」がついているので0歳児は4人まで1人、1・2歳児は最初の7人まで1人になってしまいます。

実は国の配置基準には3・4・5歳児にも「おおむね」がついています。これだと改正された配置基準でも3歳児だと23人まで1人、4・5歳児だと38人まで1人。改正前だと3歳児だと30人まで1人、4・5歳児だと45人まで1人になります。船橋市は組合の運動で幼児の「おおむね」を外すことができました。

(問) 児童数の関係又は保育内容で年齢別でなく、合同での保育は実施していますか。

(答) 市川・船橋は「はい」浦安・習志野は「いいえ」でした。市川は0歳児の入所が減り、複数名で保育するため0・1歳児の合同保育をしている保育園

があるという回答でした。

浦安・市川・習志野は配置基準も年齢別になっていました。4歳児クラスに子どもが28人だったら保育士2人、5歳児クラスに子どもが28人だったら保育士2人です。

船橋市の基準では4・5歳児あわせてなので子ども56人に保育士は3人となり、どちらかのクラスは保育士1人になってしまいます。

(問) 保育士が足りないと聞きますが、現在の状況をお聞かせください。

(答) 船橋市以外は「足りている」という回答でした。配置基準という意味では「足りている」のかも知れませんが、浦安・市川・習志野の保育士からは「とても厳しい」と聞いています。

(問) 「こども誰でも通園制度」について令和6年度より実施になっていきますが、どのように進めていますか。

(答) 市川は公立3園で実施中、浦安・船橋・習志野は来年度実施

に向けて検討中と回答。

(問) 「こども誰でも通園制度」について問題あるいは不都合な点がありましたら、具体的におしえてください。

(答) 浦安：私立保育所等を中心に実施を想定している。

市川：国が設定している補助単価では民間事業者は困難となる可能性が高い。支援できる体制は整えていく。

船橋：支援児の受け入れ体制をどのように設定するか。待機児童が多く、保育所不足の中実施園の選定ができるのか。

習志野：今後国が示す基準に照らし、準備を進める予定。

自治体によって違いがあり、毎年驚かされます。配置基準など「良いところは取り入れていく！」と思っています。



国会要請行動

「よりよい保育を！実行委員会」の保育署名提出と国会要請行動が12月5日（木）に行われ、参加してきました。

はじめに、参議院議員会館の会議室で保育に係わる国会の情勢報告を聞き、要請のポイントを意思統一したあと、千葉県からの参加者は、3班に分かれて県内選出の国会議員の部屋を訪問し、請願署名の紹介議員になつてくれるよう依頼して回りましました。

今回の要請を通じて新たに2人の国会議員が紹介議員になつてくれ、県内の紹介議員は8人になりました。

「よりよい保育を！実行委員会」の保育署名は引き続き集めていますので、年末年始に会う親戚の方やお知り合いにもぜひ協力をお願いします。

〈保育学校参加者の感想〉 「不適切保育とは」 新保 庄三 先生 10月19日(土)

- 子ども大綱が制定され、「子どもの人権がクローズアップされてきましたが、職員や大人の人権も守られないといけない」という話があり、ついつい「不適切保育」が取り上げられるようになると、子どものことしか考えられなくなっていた自分にとって、「目からうろこ」でした。「不適切保育」と言われた事件の裏にある問題点の解決が保育士の人権を守る。仕事が忙しすぎるのは、なぜ？ 行事が多すぎる？ 「見直す事で保育士の人権が守れる」という話しは、納得したり、びっくりしたりでした。子どもに対しては、こちらの思いだけでやってしまうと「不適切保育」になりがち。子どもが「YES」「NO」を選べる声かけが大事だそうです。
- 「不適切保育」の原因として「保育士個人の問題だけではない」ということ、「保育士にも人権がある」という言葉が印象的でした。配置基準がある中、1人でクラスをまとめ、健やかな発達を促せない自分は無能だ。給食の時間に全員入室させなければ・・・「せねばならない」にイラッしたり、強い口調になったりしてしまうこともあります。出来ることとして「行事の見直し」というお話もありました。子ども、保育士、保護者の人権を尊重するために、考えていくことも大事だと思いました。



〈保育学校のお知らせ〉

「新年度に向けた安全とコミュニケーションのポイント」
掛札 逸美 先生

1月18日(土)
14:00～16:00 ZOOMのみ

新年度に向けて深刻事故と保護者とのコミュニケーションを学びましょう

今年もご協力ありがとうございました。
ささやかですが
クリスマスプレゼントを用意しました。
素敵なクリスマス、
そして、よいお年をお迎えください。

